

る」との予算組替え動議を提出しました。1億8000万円とした根拠は、前年度からの繰越金18億円の10%としたものです。

9月25日の本会議では、私どもが提出した予算組み替え動議が賛成17反対6の大差で可決されました。

### 予算組替え動議に賛成した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、共産党（板倉・水上・たゆ）、こがねい（白井・水谷）、市民会議（斉藤）、ネット（田頭）、市民カエル（片山）

### 予算組替え動議に反対した議員

みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、改革連合（篠原）、緑つながる（坂井）

※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。

予算組替え動議の可決を踏まえ、西岡市長は、組替え動議の内容に即した補正予算（第7回）を提出することを本会議で約束。それを踏まえて、補正予算（第6回）は全会一致で可決されました。

このように、市長の無為無策を見て見ないふりするのはなく、また市長からの提案を無批判に受け入れるのではなく、市民目線でチェックして、時には議案提案権を行使してでも是正を求めていくのが議会の本来の仕事です。私は、今後もそういう姿勢でチェック機関としての役割を果たしていきたいと思っております。

## 多すぎる議員定数問題 請願書は 継続審査に 市民意向調査の結果待ち

小金井市議会の議員定数が、多摩26市中、人口が類似する4市の中で一番多くなっている問題の続報です。

市民団体「議員定数削減の会」が、1120名もの署名を添えて提出した「定数2減を求める請願書」は、9月10日の議会運営委員会で審査されました。審査にあたって、請願書の紹介議員（私を含む3議員）が、請願書に賛同する立場から意見を述べました。

小金井市議会は9月、議会運営に関する市民意向調査（無作為抽出の2000人対象）を実施しました。意向調査の設問には、議員定数に関するものも含まれており、どのような結果が得られるか注目されます。

請願書は継続審査となり、11月10日に再度審査することとなりました。市議選は、来年3月21日が投票です。年内には議員定数削減を決定したいものです。



武蔵小金井駅  
東小金井駅  
新小金井駅  
朝の駅頭で  
「会派NEWS」を  
配布しています

ぜひ御一読  
願います

渡辺大三

## 「脱ムダ」で市政を変える！ 市役所改革・議会改革に全力投球

■渡辺大三略歴 1966年5月2日、岩手県水沢市（現：奥州市）生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校（桜町）、東京都立小金井北高等学校（緑町）、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社（本社：仙台市）に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選（以降7期連続当選／最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補）。「週刊渡辺大三NEWS」「情報公開こがねいNEWS」で市政情報の公開を続ける。  
【現在】 小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学員会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

【情報公開こがねい 渡辺大三 連絡先】  
〒184-0012 小金井市中町 3-26-15-301  
TEL 090-3345-6929 FAX 042(381)5074  
watanabedaizou@gmail.com 公式サイト daizou.org  
(Twitter、facebookへは公式サイトからどうぞ)

会派 NEWS 発行資金カンパをお願いします  
みずほ銀行 小金井支店 普通 1414875  
口座名 情報公開こがねい  
※領収書をお送りしたいので、お振込み後、上記連絡先にお名前、ご住所をお知らせください。  
※外国籍の方、未成年の方からのカンパはお受けしておりません。

【2020年9月定例議会 報告】 ver.3

## 小金井市議会議員 渡辺大三

# 情報公開こがねい

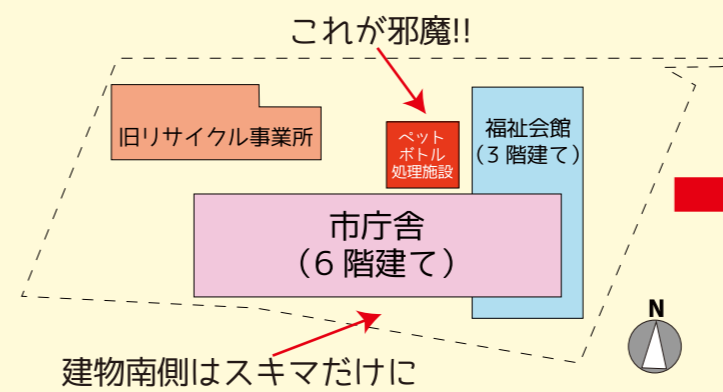
【会派 NEWS】



## 「市長案」の重大欠陥、こうすれば是正できる！ 庁舎等建設、市民団体が対案 「建設費削減」「大きなひろば」「安心の免震構造」を可能に

### 「市長案」重大欠陥の理由

西岡市長案は、既存のペットボトル処理施設を残存させたまま新市役所庁舎と新福祉会館の建築を行うため、建物を南側に寄せて建てざるをえず、建物南側に「ひろば」空間をつくるのが出来ない。



小金井市の庁舎と福祉会館の建設は、パブリックコメントで寄せられた市民からの指摘を無視する形で基本設計を作成、現在はその基本設計をベースに実施設計を作成中です。

しかし、西岡市長が強行しようとしている設計案（以下「市長案」という）には、いくつかの重大な欠陥があり、市民や議会から改善を求める指摘が相次いでいます。西岡市長は聞く耳を持たず、「市長案」の強行を狙っています。

### 3つの重大欠陥 放置でいいのか？

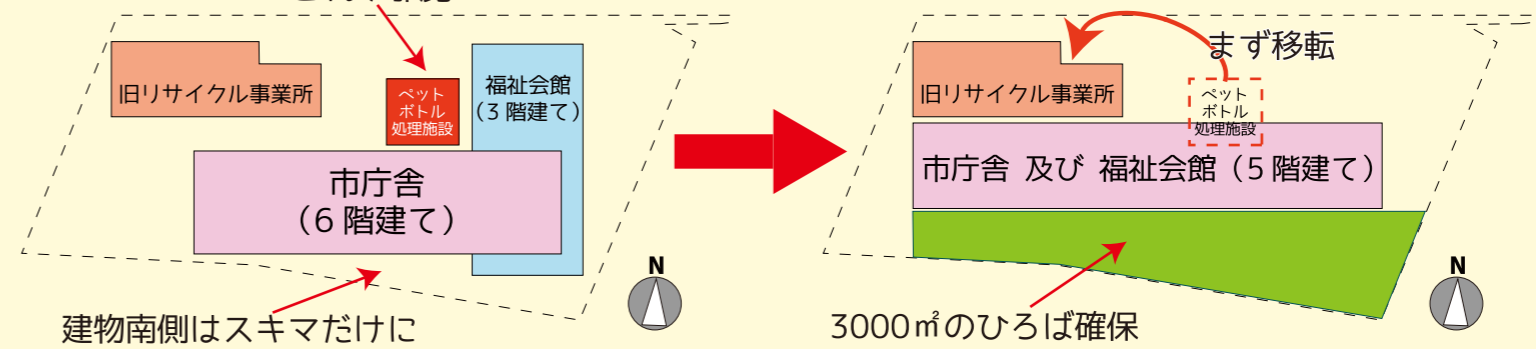
市長案の重大な欠陥は…主として3つあります。

①ペットボトル処理施設の残存など、施工性が悪い状態で工事を行うので、工期が長期にわたり無駄な経費が発生する。

②駐車場や通路を「ひろば」と呼ぶなど、敷地内にまともな面積の「ひろば」空間が創出されない。駐車場と「ひろば」が隣接しているため、小さな子どもが遊ぶ場合に危険性がある。「ひろば」は建物北側なので陽当たりが悪い。

### 欠陥を解消する「市民案」

市民団体（庁舎と福祉会館の建設を考える会）の対案は、ペットボトル処理施設を旧リサイクル事業所に暫定的に移設して撤去する。そのため、建物を約10メートル北側にずらして建設することが可能になる。そのことによって、陽当たりの良い建物南側に約3000㎡の「ひろば」空間を確保出来る。



③市長や職員が執務する庁舎にだけ、大地震でもあまり揺れない「免震構造」を採用し、複合建築する福祉会館には「免震構造」は採用しない。高齢者・障がい者・乳幼児などが多数利用する施設であり、将来にわたって不安が残る。また、「揺れない庁舎」と「揺れる福祉会館」が複合建築されるため、大地震の際にどのような現象が起きるのか、建物利用者に危険が及ばないのか、非常に大きな不安が残る。

### 市長案、ついに108億円にも

市長案の総事業費は、いつの間にか約108億円（それとは別に借金の利息が3億7000万円余発生）にまで膨れ上がりました。コスト管理が甘いからです。また、西岡市長は、市全体の財政計画をなかなか示そうともしませんでした。10月2日になってようやく令和3年度から令和7年度までの